

## 【館小学校】

《本校の OJT キーワード》

みんなで改善策校内研究 OJT

気軽に自由参加研修 OJT

学年会による日常 OJT

付せん紙で簡単振り返り



自由参加研修に参加して学び合う職員

1 本校の OJT

2 OJT 実践

3 OJT 実践の振り返り

4 OJT に取り組んで

# 1 本校のOJT

- OJTにより**教育目標の具現化を図る**。
  - ・OJT実施計画に教育目標との関連を位置づけ、意識化を図る。
  - ・目指す児童像に迫るための「**教員の資質**」と「**研修例**」を表記する。【資料1】
- 「**自由参加研修**」を推進し、学び合いと同僚生の向上を図る。
  - ・15～30分の**短時間でできる内容**とする。
  - ・自分の必要に応じて、自由に参加できるものとする。
  - ・互いに講師になることによる同僚生の向上を図る。



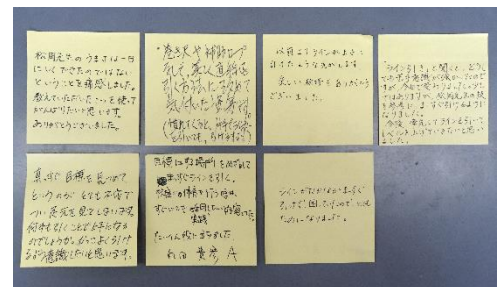
ドキュメントスキャナの  
使い方（自由参加研修）

- **校内研究で学び合いの活性化を図る**。
  - ・共通のテーマに則って、学年や全体で授業内容を話し合い、改善策を見いだしていくのは、互いの力量を向上する大きな力となるものである。
  - ・ワークショップ型検討会では、4つのグループに分け、成果や課題、改善策を話し合う。**グループの進行役は、毎回変更し**、多くの教員が経験できるようにする。



授業検討会  
ワークショップの様子

- **学び合い付箋紙**により、受講者の振り返りと講師の励みとなるものとする。
  - ・付箋紙1枚での振り返りなので、**短時間で記入**できる。
  - ・表面には学んだこと・今後に生かしたいこと、裏面には、氏名と自己評価（A,B,C）を記入する。
  - ・集まった付箋紙を**デジタルカメラで撮影**し、授業提供者や研究の講師にプリントして渡すとともに、職員会議資料に載せて、学んだことの共有を図る。



学び合い付箋紙  
（自由参加研修）

## ファシリテーターの働きかけ

- 全体のファシリテーターは**研究主任**。
  - ・ 研究推進委員が OJT の進め方について協議し、サポートする。
- 職員の**学び合いをコーディネート**する。
  - ・ 教育目標を具現化するための OJT の位置づけについて、職員の共通理解を図る。
  - ・ 学校の課題に対応するための悉皆研修の計画・立案をする。
  - ・ 全員授業、年 3 回の全員参加授業検討会（ワークショップ型）を中心とした校内研究を計画・立案する。
  - ・ 教職員の研修ニーズを把握するために校内研修アンケートをとり、自由参加研修を計画立案する。

## 学び合いの意識化

- **日常が OJT** と意識する。
  - ・ **学年主任**のリーダーシップで、日々の学年・学級経営について話し合ったり、指導の進め方などについて意見を交換し合ったりして、互いの力量の向上を図る。
- **OJT 実践シート**により OJT への意識化を図る。
  - ・ OJT に対する目標や同僚間の学び合いについて記入することにより、**OJT を意識した学年・学級経営**を行ったり、自分の力量の向上を意識して活動に取り組んだりできるようにする。
  - ・ 年間 2 回の「自己チェック」や、「OJT を振り返って」、「来年度の OJT について」を記入することにより、**OJT について振り返り**を行えるようにするとともに、**次年度につながるもの**とできるようにする。
- **学び合い付箋紙**を活用して、短時間で OJT の振り返りを行えるようにする。
  - ・ 主に、研究授業検討会や自由参加研修後に学んだこと、今後に生かしたいことについて記入する。
  - ・ 学び合い付箋紙により、受講者の振り返りと講師の励みとなるものとする。
  - ・ 集まった付箋紙を**デジタルカメラで撮影**し、授業提供者や研究の講師にプリントして渡すとともに、職員会議資料に載せて、学んだことの共有を図る。

**【資料 1】**

**平成 26 年度 館小学校 OJT 実施計画**

**学校教育目標**

創造的な知性と豊かな情操をそなえ、自主性に富み、実践力のあるたくましい児童の育成

**めざす児童像**

やさしい子ども	かんがえる子ども	たくましい子ども
---------	----------	----------

**経営の基本的な方針**

情報化，グローバル化など変化の激しい社会の要請をとらえながら，保護者や地域住民の期待・願いに応えるべく適切な学校経営を推進する。そのために，学校教育に携わる者としての重い使命を自覚しつつ，信頼と共通理解を基盤とした教職員の協働体制を確立し，「児童・保護者・地域と共に」を基本的なスタンスとして，子ども達の確かな成長に向けた教育の推進に努める。

**具現のための視点**

子ども達と共に	保護者・地域と共に
<ul style="list-style-type: none"> <li>○実態把握と個に応じた指導の工夫</li> <li>○学習の約束や生活のきまり等の指導</li> <li>○時と場に応じた挨拶や言葉遣い</li> <li>○読書活動の推進と特別活動の充実</li> <li>○豊かな体験活動や様々な出会いの充実</li> <li>○望ましい食習慣・運動習慣の奨励</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○さわやかな笑顔・挨拶・礼儀の励行</li> <li>○共に子どもを育てる意識の明確化</li> <li>○教育に関する課題の共有化</li> <li>○地域素材・地域人材の積極的な活用</li> <li>○適切な情報公開と共通理解</li> <li>○連携を密にした強固な信頼関係の確立</li> </ul>

**具現化のための各施策**

やさしい子ども	かんがえる子ども	たくましい子ども
集団生活の中で互いの良さを認め合い，誠実な行動ができる子	自ら考え，意欲的・主体的に問題解決に取り組む子	自他の生命を大切に，自らの体を鍛え，粘り強く取り組む子
<ul style="list-style-type: none"> <li>○豊かな心をはぐくむ教育の推進</li> <li>*明るく元気な挨拶の励行と全教育活動を通じた道徳的実践力の向上</li> <li>*自己の生き方を考え，自立的に生きるための能力を育てる指導の推進</li> <li>*様々な人との出会いなど豊富な体験活動を通じた豊かな人間関</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎・基本の確実な定着</li> <li>*学ぶ意欲，表現力を基盤とした確かな学力の育成</li> <li>*「館小学校学習のきまり」「家庭学習のしかた」の徹底と少数指導をいかした個に応じた指導の充実</li> <li>*必要な情報を収集・判断・表現・処理する能力の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体力向上と健康保持・増進</li> <li>*学校・地域社会が一体となった「防災教育」の推進</li> <li>*外遊びや運動など，全校活動への積極的な取組の推進</li> <li>*食育の充実と心身の健康に関する指導の推進</li> <li>*健康・安全に対する意識の高揚</li> </ul>

係の構築 ＊「いじめ」のない穏やかな人間関係の構築 ＊共感的理解を基盤として、自己存在感を味わわせる生徒指導 ＊児童の感性をはぐくむ校内環境づくり及び校内外の美化と整理整頓	＊「読み聞かせ」を含めた日常的な読書活動・言語活動及び外国語活動の充実 ＊児童のニーズに応じた特別支援教育等の充実 ＊特別授業や外部講師活用による知的好奇心を高める指導の推進	
---	---	--

**必要とされる資質**

やさしい子ども	かんがえる子ども	たくましい子ども
集団生活の中で互いの良さを認め合い、誠実な行動ができる子	自ら考え、意欲的・主体的に問題解決に取り組む子	自他の生命を大切に、自らの体を鍛え、粘り強く取り組む子
○学級経営の力 ・児童との信頼関係 ・学級経営の実践力 ・児童間の人間関係づくり ・児童間のトラブルに対する指導 ○学年経営を共通理解する力 ○生徒指導力 ・児童・保護者への共感的理解と対応 ・いじめ防止に関する知識と実践力 ○道徳教育を推進する力 ○自分づくり教育の理解と実践する力 ○情報モラルの指導力 ○教室経営の力	○学習指導力 ・学ぶ意欲・表現力を高める指導 ・基礎・基本を定着させる指導 ○授業づくりの力 ・教材分析から実践までの力 ・言語活動に関する理解 ○家庭との連携の力 ・「館小学校学習のきまり」「家庭学習のしかた」の推進 ・保護者とのコミュニケーション力 ○読書活動・言語活動及び外国語活動を実践する力 ○特別支援教育の実践力 ・特別支援学級、普通学級における支援を要する児童への理解と実践力	○基本的な生活習慣を形成する力 ○教科体育の指導力 ○健康・安全に対する意識を高める指導力 ○外遊びや運動などを推進する力 ○「防災教育」の理解と実践力 ○食育の充実と心身の健康に関する指導を推進する力

**○ J T 研修例**

<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童との絆を強める方法</li> <li>・学級開きの仕方</li> <li>・学級目標の決め方</li> <li>・学級活動の一工夫（当番活動と会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研究の進め方</li> <li>・合唱の指導法</li> <li>・楽器の演奏法</li> <li>・学習に応じた場の設定のしかた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育のゲームの進め方</li> <li>・水泳指導の効果的な指導法</li> <li>・マット運動の指導法</li> <li>・縄跳び運動のさせ方</li> </ul>
---	--	--

<p>社活動など)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当番表の作り方</li> <li>・掲示物の工夫のしかた</li> <li>・席替えの仕方</li> <li>・連絡帳の書かせ方</li> <li>・ロッカーや机の整理・整とんのさせ方</li> <li>・懇談会の持ち方</li> <li>・通信票の所見の書き方</li> <li>・Excel の活用法</li> <li>・板書による児童への言葉がけ</li> <li>・学級通信の一工夫</li> <li>・児童のトラブルへの対応の仕方</li> <li>・情報モラル教育の進め方</li> <li>・道徳教育の進め方</li> <li>・自分づくり教育の進め方</li> <li>・家庭訪問での保護者とのかかわり方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クロッキーの書かせ方</li> <li>・ノートの描かせ方</li> <li>・漢字力を向上させる練習法</li> <li>・国語辞典の活用例</li> <li>・読書に意欲的に取り組ませる方法</li> <li>・読み聞かせのしかた</li> <li>・外国語活動の進め方, ALT との打合せのポイント</li> <li>・支援を必要とする児童とのかかわり方</li> <li>・SST (ソーシャルスキルトレーニング) 活用例</li> <li>・デジカメの便利な使い方</li> <li>・ブルーレイレコーダーの活用</li> <li>・実物投影機の便利な使い方</li> <li>・ドキュメントスキャナの使い方</li> <li>・S K Yメニューの使い方</li> <li>・I T C活用例</li> <li>・保護者とのかかわり方</li> <li>・学校ブロック発信のしかた</li> <li>・ラインカーでのラインの引き方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・号令のかけ方</li> <li>・防災研修</li> <li>・給食指導の進め方</li> </ul>
---	---	---



## 2 OJT 実践

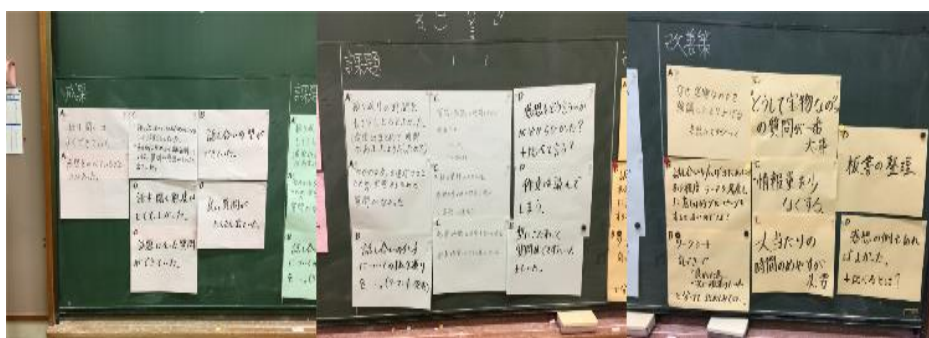
### OJT キーワード

#### みんなで改善策校内研究 OJT

- **全員授業**による計画的な研修（7月～12月）
  - ・ 学年，学年部による指導案の検討及び事後検討会を行う。
  - ・ 低・中・高学年各1クラスの**全教職員参加のワークショップ型授業検討会の実施**。
  - ・ 授業づくり訪問における全教職員参加の指導案検討会（グループ協議型）と事後検討会（ワークショップ型）の実施。
  - ・ **グループの進行役は，毎回変更し，多くの教員が経験できるようにする。**



授業検討会（ワークショップの様子）



グループ毎に成果，課題，改善策を提示

### OJT キーワード

#### 気軽に自由参加研修 OJT

- 校務を遂行する上で，全教職員が学ぶべき課題については悉皆研修を，その他学習指導等におけるものは**自由参加研修**とする。
- **教職員のニーズに応じた研修**にするために，全教職員に希望研修のアンケートを実施する。（館小学校OJT実施計画を参考にする）
  - ・ 希望研修アンケートでは，自己の知識や技能を生かせるように，「こんな研修なら自分が講師となることができる」というらんを設ける。
  - ・ 希望研修アンケートでは「〇〇先生に」「〇〇を教えてほしい」とリクエストを書くらんを設け，当てはまらない場合には「だれかに」でも記入できるようにする。
- **短時間で実施**できるように，1モジュール(M)15分とし，1Mないし2Mでできるようにする。



スカイメニューの使い方（自由参加研修）

【資料2】平成26年度に実施した自由参加研修

番号	研修内容	講師	日時(案)	場所
1	学校ブログの発信のしかた		7月18日(金)	職員室
			職員会議後	
2	スカイメニューの使い方		8月22日(金)	コンピュータ室
			10:00～	
3	ラインカーで引くラインをきれいに書く方法		9月2日(火)	校庭
			16:15～	
4	読み聞かせの仕方		12月16日(火)	図書室
			16:00～	
5	縄跳びの指導法		12月15日(月)	体育館
			16:00～16:30	
6	板書による子供たちへのメッセージと学級だより		11月26日(水)	4年3組教室
			16:00～16:30	
7	保護者への対応 →悉皆となりました		9月26日(金)	特活室
			職員会議	
9	授業における毛筆の指導法		12月12日(金)	特活室
			15:55～	
10	ポディーパーカッション,楽器の演奏法		10月24日(金)	音楽室
			16:00～	
11	デジカメの便利な使い方 & 理科室の備品紹介		12月3日(水)	理科室
			16:00～16:30	
12	ドキュメントスキャナの使い方		10月6日(月)	職員室
			16:00～16:15	
13	簡易顕微鏡(マイ顕微鏡)による花粉観察の仕方		9月12日(金)	理科室
			15:45～16:15	
14	スクールカウンセラー講話		1月14日(水)	特活室
			15:50～16:35	



【資料3】 校内研修アンケート用紙と呼びかけ

研修種別	悉皆研修・希望研修	記入者氏名			
研修内容					
講師	自分・（ ）先生に ・ 誰かできる人に				
いつごろ		場所		時間	M

- ・ **研修種別**：悉皆研修か希望研修か当てはまる方に○をしてください。希望研修は、自由参加です。
- ・ **研修内容**：これができるとちょっと便利，学級経営や授業，校務処理に役立つよといったものから，この機会にみんなで勉強しましょうといったものまで何でもOKです。  
今年度いらっしゃった職員もたくさんいますので，**昨年度実施したものでもOK**です。また，**若い先生だからこそ，伝えられるというものもあります**。若い先生も，講師の経験を試してみませんか。教える立場になるのも学びが大きいです。研修例を参考にして，ぜひお出してください。
- ・ **講師**：ぜひ遠慮せずに自分でできるものを書いてください。他の誰かにお願いしたい場合は，誰に講師をしてもらいたいかも書きましょう（リクエスト）。思いつかない場合は，「誰かに」を選択してもOKです。悉皆研究では，センターの講師の方や専門的な知識を持った外部の方などもOKです。
- ・ **いつごろ**：書ける場合は書きます。いつでもいい場合は，「いつでも」と書きます。
- ・ **場所**：職員室，コンピュータ室，特活室，体育館，音楽室などと書きます。
- ・ **時間**：1M（モジュール）＝15分。およそ何Mか書きます。自由参加研修は，基本1M～2M，長くとも3Mまでにしましょう。分からないときは，書かなくてもいいです。

## OJT キーワード

### 学年会による日常 OJT

- 毎週月曜日は**学年会の時間**として設定し、OJT の時間を確保する。  
(OJT の最も基本的な部分として押さえる。)
- 主任が中心の主体的な学び合いを進める。
- 年度当初の**カリキュラムデザイン週間**に学年経営の方向性、横断的なカリキュラムの作成、学級経営の進め方等についての話合いを行う。
- **授業参観・懇談会**による児童の実態、保護者への対応に関する話合い。(学年で子どもを育てる意識、保護者に適切な情報を伝える意識)
- 毎日の**教材研究や行事等に向けた話し合い**を行う。

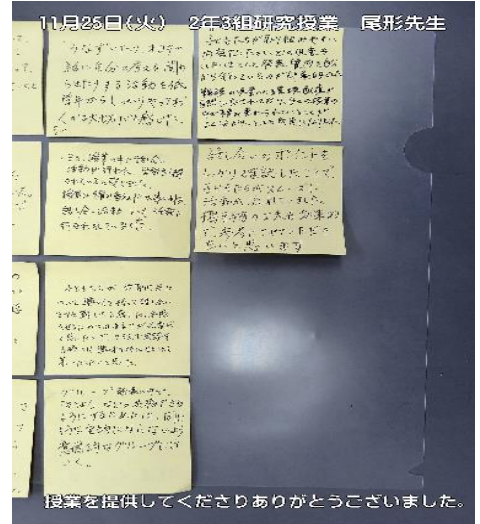
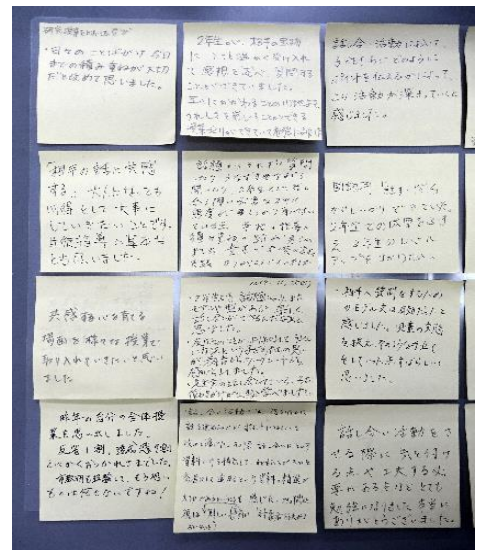


学年会の様子

## OJT キーワード

### 付せん紙で簡単振り返り

- **学び合い付箋紙**を活用して、短時間で OJT の振り返りを行えるようにする。【資料 4】
  - ・主に、研究授業検討会や自由参加研修後に**学んだこと**、**今後に生かしたいこと**について記入する。
  - ・学び合い付箋紙により、**受講者の振り返りと講師の励み**となるものとする。
  - ・集まった付箋紙を**デジタルカメラ**で撮影し、授業提供者や研修の講師にプリントして渡すとともに、職員会議資料に載せて、**学んだことの共有**を図る。
  - ・学んだことを振り返ることで、来年度は「こういうことなら自分も講師としてできそうだ」という**次年度につながる意識**を高めることができる。



授業検討会後の付箋紙

授業を提供してくださりありがとうございました。

## 【資料4】 学び合い付箋紙について

表

研修を受けて、思ったことを記入してください。（学んだこと、今後への生かし方等）

例）

One Note を先生方との情報共有に生かしていきたいと思いました。

保護者に対して、これから・・・の点に気をつけて対応していきたいと思いました。

裏（糊面）

糊面

今後の教育活動への有効性という観点で、自己評価を記号で記入してください。

A とても役に立った。（今後の教育活動にぜひ生かしていきたい）

B 役に立った。（今後、生かしていきたい）

C 自分としてはあまり役に立たなかった。

〇〇 〇〇（氏名） A

### 課題に応じた悉皆研修

○ 校務を遂行する上で、**全教職員が学ぶべき課題については悉皆研修**を実施する。

#### ・エネルギー環境教育研修

館小学校では、本年、経済産業省資源エネルギー庁主催のエネルギー教育モデル校に認定された（約3年間）。職員がエネルギー環境教育について、その意義や実践方法を学び、共通理解して取り組めることができるように以下の研修を実施した。

- ・仙台自分づくり教育の中でのエネルギー環境教育の実践例（校長）
- ・エネルギー環境教育の本質、エネルギー教育とキャリア教育（校長）
- ・東北電力中央給電指令所、仙台火力発電所、仙台太陽光発電所の見学
- ・大学教授による講話及び実習

#### ・特別支援教育理解研修（講師：他校校長先生）

支援を要する児童に対してどのように理解し、どう接していけばよいのか、講話と演習を通して学んだ。

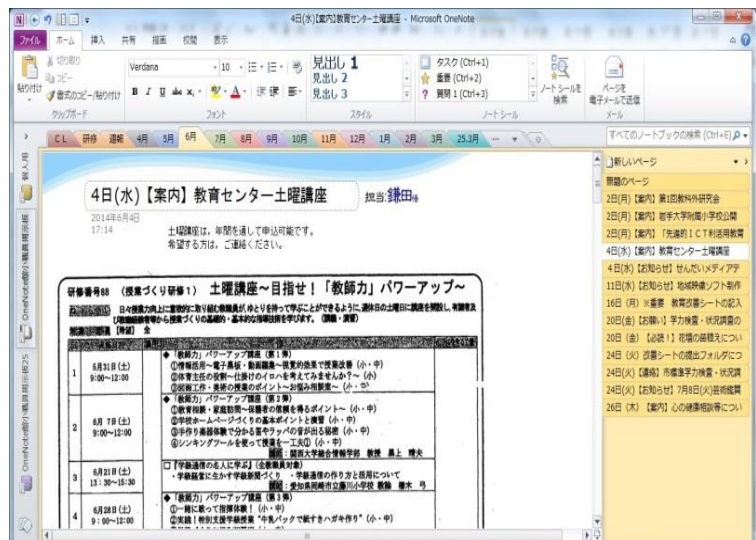
その他に、救命訓練、防災研修等に取り組んだ。

## 学力向上方策 OJT

- 「館小学校学習のきまり」「家庭学習のしかた」の取組の理解と実践。
  - ・児童が同じ心構えで学習に取り組み、より学習効果を高めるために学校として学習のきまりを定めている。基本的な学習習慣づくりを全校を挙げて取り組んでいくことを、職員会議等を通して共通理解を図る。また、新年度に向けて各学年の研究推進委員会を中心に話し合い、内容を更新していく。
- 3年生以上によるマイ辞書引き学習の取組の理解と実践。
  - ・3年生以上の児童が自分の国語辞典を持ち、学習の様々な場面で言葉を調べる習慣を身につけるために取り組んでいる。職員で以下のことを共通理解し、統一した取組を行う。
    - ①国語辞典は、ケースから外して手提げ袋に入れ、自分の机の脇に掛けること
    - ②調べたページには付箋紙を貼らせることで、意欲的に取り組めるようにするとともに、どのくらい国語辞典を引いたかが実感できるようにする。
    - ③国語に限らず広く活用させ、自学力の向上を図る。
- 全教職員による「仙台市標準学力検査・生活・学習状況調査」の結果の分析、改善方策の作成。
  - ・学年のメンバーが分担して学力分析を行い、成果や課題、改善策を考える。
  - ・各教科部会を開いて教科ごとの分析を行い、学校として取り組む、今後の改善方策を考える。
  - ・学力向上全体会で各学年の改善方策を共通理解し、現学年で取り組まなければならないことを学年で協力して実践していく。

## OffJTを生かす OJT

- センター研修や外部での研修を OneNote や回覧で周知し、参加を促す。
- 教育センターや外部の研修で受けてきたものを、打合せや職員会議で伝講するとともに、資料を回覧する。



OneNote での研修案内

# 3 OJT 実践の振り返り

## OJT 実践内容

「館小 OJT 実践開始」 (H26.7 月実施)

## 振り返り方法と留意点

### OJT 実践シート

- ・ 館小学校版 OJT 実践シートを配布。
- ・ OJT スタートにあたり、目標と O J T 推進計画を記入。  
目標については、「仙台版・生き生き教員づくり」を参考にする。  
「O J T 推進計画」については、「同僚から学びたいこと」「自分から同僚に働きかけたいこと」について、「いつでも」「どこでも」若手の育成だけでなく全職員の学び合という視点から記入する。

館小学校OJT実践シート

作成日26年7月29日 職名 教諭 氏名

1 私の目標 - 「仙台版いきいき教員づくり ～求められる教員の姿～」から -

- ・同僚の立場を理解し、経験を生かした指導・助言を導んで行うようにする。
- ・目的や内容に応じて指導技術や指導形態を工夫して、効果的な指導をする。
- ・自分づくり教育の小中連携の年間指導計画を考える。

2 私のOJT推進計画

◎OJT (同僚間の教え合いや学び合い)	自己チェック
<b>同僚から学びたいこと</b>	9月 12月
・指導や助言の効果的な仕方	B B
・教育機器を生かした効果的な指導方法	B A
・自分づくり教育の情報	C B
<b>自分から同僚へ働きかけたいこと</b>	9月 12月
・若い先生へ基本的な生活習慣・学習の基礎の指導方法について助言する。	A A
・同僚が困っていることや不安に思っていることについて、適切な助言をする。	A A

3 OJTを振り返って(12月に記入)

- ・ 志留研修・自主的な研修のどちらからもいい刺激を受けことができました。冬休み明けの毎日の実践に可能な限り取り入れていきたい。
- ・ 先生方の授業を参観することは自分の指導を振り返って反省する材料になることが最大のメリットであるが、焦点を絞って話し合う検討会でも様々な意見や改善点が出されて興味深い。

4 来年度のOJTについて(12月に記入)

同僚から学びたいこと	自分から同僚に働きかけたいこと
目的や内容に応じた教育機器を生かした効果的な指導方法	同僚の立場を理解し、経験を生かした指導・助言を導んで行うようにする。(生徒指導、親への対応等)

館小学校版 OJT 実践シート

- ・ 自己チェック欄を 2 回 (9 月と 12 月) に記入することを確認。
- ・ 12 月に、「OJT を振り返って」「来年度の OJT について」を記入することを確認。  
「OJT を振り返って」では、校内研究による OJT, 学年会による OJT, 悉皆や自由参加の校内研修による OJT 等において学んだこと、考えたことなどを書く。来年度「同僚から学びたいもの」「自分から同僚に働きかけたいこと」のらんは、教育目標の具現化という視点から記入する。
- ・ 自分自身の目標設定, OJT の意識化, 振り返りには、とても有効である。
- ・ 来年度の OJT について記入することで、次年度の OJT につなげることができる。
- ・ 年度途中から O J T の土台作りに取り組んできたので、教育目標の具現化という視点までは、十分に浸透しきれなかった。来年度は、5 月はじめまでに実施していく必要がある。



## OJT 実践内容

### 「付せん紙で簡単振り返り」

(H26.8月以降実施)

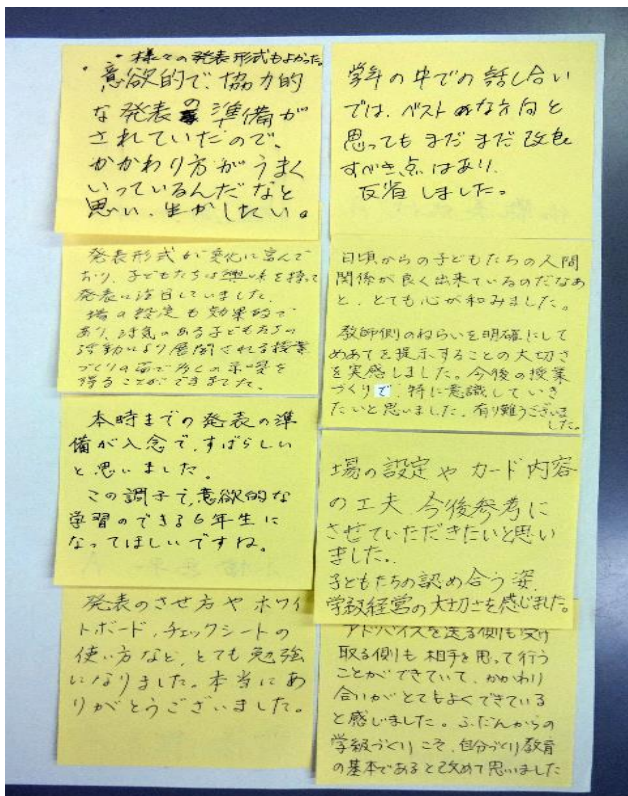
## 振り返り方法と留意点

### 学び合い付箋紙

- ・低・中・高学年各1クラスの全教職員参加の授業検討会と自由参加研修の際に学び合い付箋紙を配布。
- ・学んだこと、今後に生かしたいことについて記入する。
- ・研修後に参加者に配布し、すぐに記入してもらう。
- ・学び合い付箋紙により、受講者の振り返りと講師の励みとなるものとする。
- ・集まった付箋紙をデジタルカメラで撮影し、授業提供者や研修の講師にプリントして渡すとともに、職員会議資料に載せて、学んだことの共有を図る。
- ・学んだことを振り返ることで、来年度は「こういうことなら自分も講師としてできそうだ」という次年度につながる意識を高めることができる。



授業検討会の様子



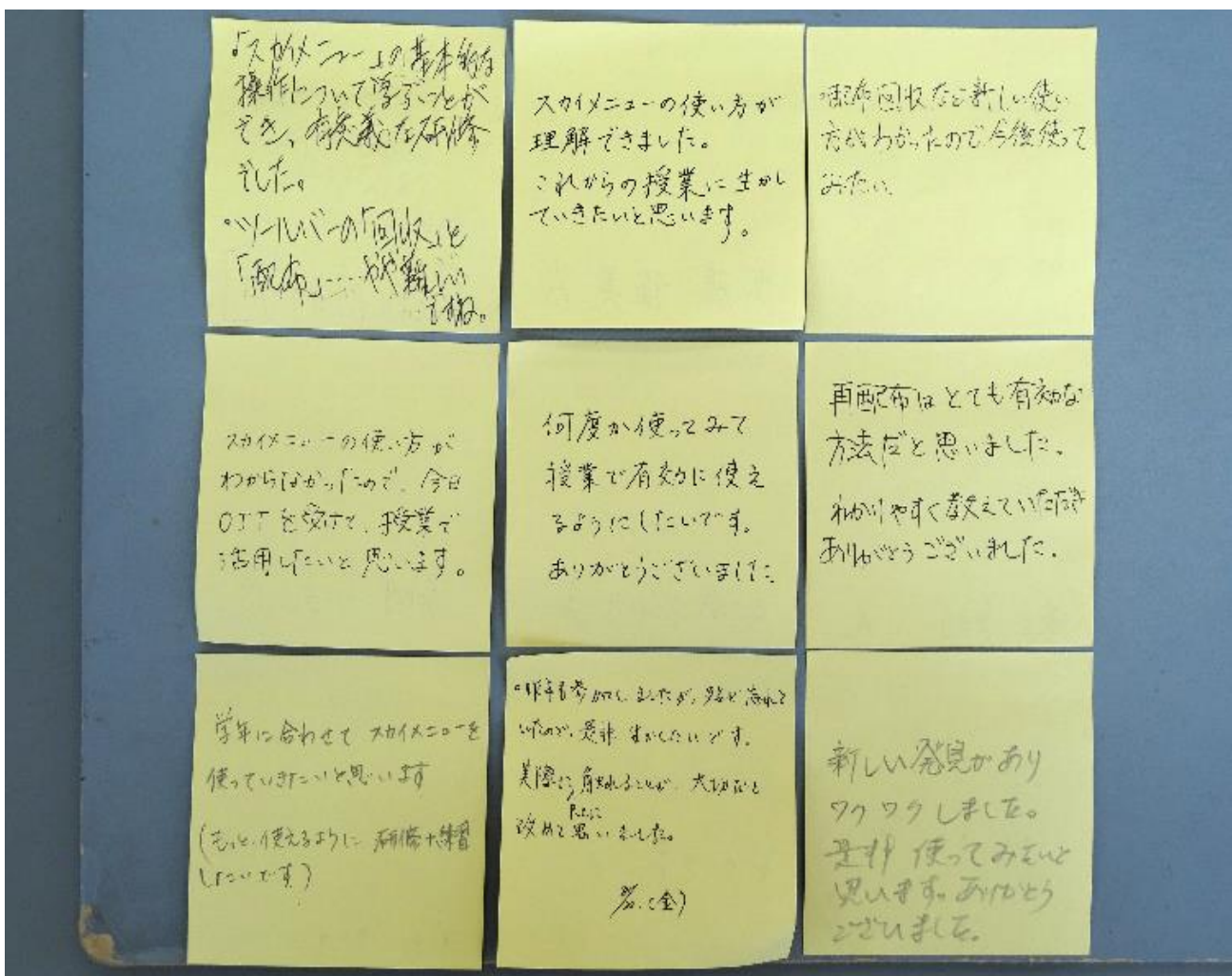
授業検討会後の付箋紙（抜粋）

- ・研修会後すぐに記入することで、自分の学びについて新鮮な思いを書くことができ、振り返りとして有効である。
- ・付箋紙1枚なので、短時間で記入することができる。
- ・デジタルカメラで撮影し、職員会議の資料とすることで、学んだことの共有化を簡単に図ることができる。
- ・授業検討会後は、記入の観点を指定することで視点の定まった振り返りとなると思う。今後検討してみたい。

自由参加研修と学び合い付箋紙の例



スカイメニューの使い方







縄跳びの指導法

なわとびの指導法の知識がほとんどなかったため、大変参考になりました。板も活用していきたいと思えます。

体育は「スモールステップ」なので、という言葉にハッとさせられました。縄跳びの指導はとて難しいと感じていたため、苦手意識の強い子どもには、まずジャンプのタイミングからつかませたいなと思います。

二重とびのリズムのとり方が参考にになりました。

さらに、「目で見て止まったら前足を入けて…」のやり方も参考にしました。

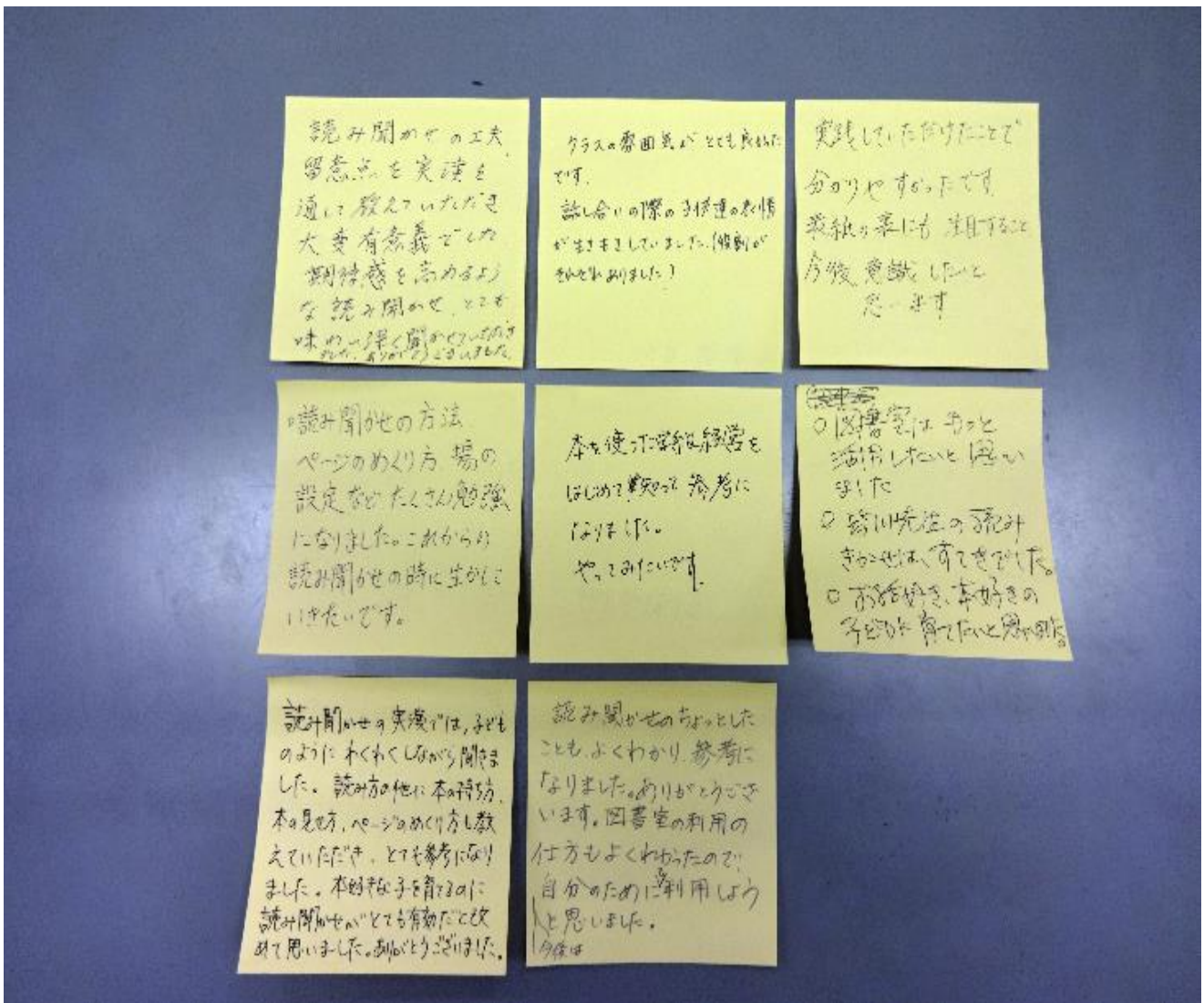
なわとびの楽しさを少しでも感じられるような指導をしたいと思いました。まずは自分で練習します。おかげさまでございました。

返しとび、子どもたちにもマスターさせたいです。手の位置、腕の回り方などを分解して、くり返し見せることで子どもたちはだんだんコツをつかんでいくのだと思います。できる喜びをたくさん味わってほしいと思います。

「かえし跳び」のやり方がわかりました。子供に教える際のポイントもよくわかりました。「リズムが大切」ということがわかりました。



読み聞かせの仕方





## 4 OJTに取り組んで

### 成果

- 学校の課題に対応した**悉皆研修**を実施したことにより、今後取り組んでいくことの共通理解を図ることができた。
- OJT実践シートを全職員が記入することにより、**自己の研修やOJTの必要性**を意識化することができた。
- 「自由参加研修」を実施したことにより、職員が学び合うことの有効性を感じることができ、**職員間の同僚性**を高めることができた。
- 「学び合い付箋紙」の活用は、受講者の研修に対する振り返りをおこなうことができるとともに、**講師にとっては励み**になるものとなった。

#### 《先生方の声》

自由参加のOJTでは、自分のちょっと知りたいことを気軽に知ることができ、とてもよかった。また、そのような機会があることで、それぞれの先生方のまた違ったよい面を発見することができ、研修の+αがあると感じた。

#### 《先生方の声》

普段、中々伺うことの出来ない内容を学ぶことが出来て、執務の向上につながり、精神的にも安定して業務を行う事が出来た。1人ではチャレンジできないことでも皆で学べば同志も出来て、やってみようという気持ちにもなり励まされた。

#### 《先生方の声》

自分の都合の良いときに気楽に参加できる体制がとてもいいと思った。普段自分が実践していることをそのまま伝えることができた。同僚の先生方の得意分野を研修でき、今後、自分の学習指導、学級経営に活かそうと思った。

#### 《先生方の声》

今年度も沢山のOJTに参加させて頂き、自身も貴重な授業提供の機会を頂くことができた。学年会では、学年主任の先生から学級経営のノウハウを数え切れないほど教えて頂いた。学年会という機会だけではなく、平日頃から気に掛けていただき、とても有り難かった。

## 今後に向けて

- 調査研究協力校として、年度途中からOJTの土台作りに取り組んできたので、**教育目標の具現化**という視点までは、浸透しきれなかった。この取組を継続して進めるとともに、新年度に向けてさらに整備していくことが必要である。
- 「校内研修アンケート」には、たくさんの希望が寄せられたが、すべてを実施することは時間的に無理であり、精選して計画を立て実施した。新年度計画作成の際に、**あらかじめ研修日を設ける**など、計画的に取り組むことの必要性を感じた。
- 教員各自にそれぞれの得意分野があるが、自分から講師として名乗り出ることには遠慮がちな方が多い。頼まれれば了解してくれる場合が多いので、ファシリテーターは、**先生方の得意分野等の情報収集に努め、講師の依頼をしていく**ことが今後も必要である。この取組を継続していくことで、より活気のあるOJTの環境づくりができると思う。
- これからも継続的にOJTを実践していくためには、例えば各学年1名ずつ選出したOJT推進委員会など**ファシリテーターを中心とした体制づくり**を行い、連絡・調整をスムーズにしていくことが必要である。